

ジュピターサテライト放送株式会社 番組審議委員会議事録

1. 開催日時： 平成 27 年 3 月 18 日（水）15 時 30 分～17 時 00 分

2. 開催場所： 当社会議室

3. 委員の出席：

委員総数： 7 名

出席委員数： 7 名

出席委員の氏名：

（敬称略、五十音順）大蔵 雄之助、大宅 映子、音 好宏、砂川 浩慶、中村 伊知哉、
諸星 裕、吉岡 忍

放送事業者側出席者：

ジュピターサテライト放送株式会社

代表取締役社長 加藤 徹、取締役 村山 直樹

ジュピターショップチャンネル株式会社

執行役員 メディア&マーケティング本部長 八木 直久

メディア&マーケティング本部 メディア営業部 業務推進グループ長 上原 宏一

事務局 前田 鎮男、森 綾、吉川 美幸

4. 議題

ジュピターサテライト放送株式会社が放送する「ショップチャンネル」の番組内容、編成内容について。

5. 審議内容

①「ショップチャンネル」のオリジナル番組『日本をみつけよう』企画概要及び『日本をみつけよう ～静岡～』について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

- ・地方とのタイアップした番組ということで、販売商品がどのようなプロセスで決まるのか教えてほしい。
- ・よい商品を扱うことはもちろん重要だが、地方名産となると、ロットを集めることに苦労され

るのではないか。

- ・地域を紹介する番組ということであれば、歴史や文化など、その地域に関する情報や特徴をもっと出したほうがよいと思う。地域紹介という点においては少し物足りなく感じた。
- ・番組内で県知事が登場したが、司会者が県知事に御礼を言っていたことに違和感を覚えた。
- ・販売商品の中に緑茶が含まれていたが、商品のおいしさを伝えるだけでなく、おいしいお茶の入れ方も紹介できたほうがよかった。
- ・ネット通販と異なり、現在の放送のみでお客様は商品の判断しなければいけないのか。
- ・スタジオ収録の通販番組と比較すると異色な番組なので、拝見した当初は違和感があったが、制作するスタッフのテンションも伝わってくる番組だと思った。せっかくなのでもっとお祭り騒ぎをしてもよいのでは。この番組ならではの番組の色をもっと出してよいと思う。

<事業者回答>

- ・今回の企画における販売商品の主なルートとしては、静岡にある既存取引先、行政からのご紹介、地元テレビ局からのご紹介、という3パターンがある。弊社のバイヤーがお客様ターゲットに合わせて買付を行っているだけでなく、ショップチャンネルオリジナルバージョンを特別に作って頂くこともある。
- ・日本みつけようは宝さがし。宝さがしであれば、商品数を多くすることは確かに難しい。放送枠の調整により、少ないロットで販売することも可能であるが、商品のよさがお伝えできる時間を確保できることが大前提であるため、ある程度の商品数は必要となる。
- ・番組では冒頭に、その時間でご案内する商品と値段をご案内しており、1商品に十分な時間をかけて丁寧なご説明を心掛けている。食べ物は原則返品不可とさせて頂いているが、その代わり、口にすると商品の安全性、扱い方（調理法）などを丁寧にご説明するため、1商品に1時間程度を基本としている。
- ・大変多くのご意見を頂戴し感謝している。本日も指摘いただきました点については、本番組をよりよい番組にできるよう、今後の課題とさせていただきます。

以上